

No. 11

1987

12月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区
発行責任者
下 井 武 平
印 刷
キタバヤシ印刷



下市田の区と公民館では
十月十七日・十八日下市田
公民館において錦秋の「文
化まつり」を開催した。
今年は従来のクラブ展示
発表会を区のコミュニティ
事業とし「文化まつり」と
銘打って書・絵画・生花・
盆栽・手芸・陶芸等の展示
や、敬老会に併せ茶道部の
接待・民踊・カラオケ・詩
吟・大正琴・尺八・区内青
年層の寸劇等の発表があり、
区民の観賞者が多く、各ク
ラブの日頃の成果によるレ
ベルの向上もみられ、文化
の町にふさわしい区の行事
となった。

区三役再任にあたり



区長 平 武 井 下

ご意志により再選されました上は誠心誠意区の為に努力する覚悟でありますので、今後共変りなきご協力を心からお願い申し上げます。再任のご挨拶いたします。

区の情勢について

去る十月三十一日を以て、任期満了による下市田区三役の改選の結果、私達三名がそれぞれ区長・副区長・会計に再選されました。過去二年間誠に至らない私達でありましたが、区民各位のご協力により大過なく任期を全う出来ましたことを深く感謝申し上げます。心ならずも再び区民各位の



副区長 人 重 島 松



会計 島 勤 三

一、区有地裁判については去る十月十五日開廷され区三役の他三名が西沢先生に同行し、特に今回は本島前町長さんと本島収入役さんの二人の証人尋問があり、お二人に同行をお願いしましたが、裁判の結果は次回十二月三日開廷となりました。結審は来春と西沢先生の予想であります。

二、土木関係については間ヶ沢堤の修理が約八〇〇万円位の事業費(内二〇%地元負担)で着工の見込みであり、ひょうたん堤北側の境界につき隣接地主と協議の結果境界変更の合意が成立し、面積は差

代議員会について



代議員会長

区報第八号に区の運営規程による、代議員の任務や引き零と云う事になりました。

三、工業団地については旭松が買い増しを、新たに吉川製菓の進出決定、其の他二、三社の話が進行中であります。

四、町制三十周年事業の一環として十一月二十二日に民俗芸能祭が行われ、当萩山神社の獅子舞・獅子曳及び囃屋台が参加し町民に多大の感銘を与えました。

五、昭和六十三年四月から吉田河原保育所と白百合保育所が合併し、新たに町立吉田河原保育所となり其の運営を白百合に委託する事になりました。下市田北部地区の子供が一部吉田河原保育所へ通う事になります。宜敷くお願い申し上げます。

林務委員会報告

小林 恵

今迄の経過について細かく報告してありますので省略させて頂き、今回は当面する問題について報告致します。

区の運営規程については、月日の経過と共に行政も変化があり、区民の要請もありますので、区の三役を中心に特別委員による規程の一部を改善するように検討中であります。また六十三年度より

林務委員会報告



林務委員長

私のような者が林務委員長と言う役を戴き、これは大変だと思っているうちに一年が過ぎようとしています。

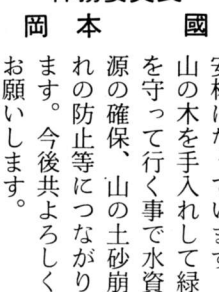
協力を得ましては、後は門松の準備等僅かになりました。

林務委員の仕事は、区有林の見廻りをし、町の林政協議会の指導を得て作業予定を立て、区の皆様にご協力をお願いする事です。

実施される町の振興総合計画下市田地区計画については、それぞれの委員会と緊密な連絡をとり、尚緊急で優先される事業も起こることがありますので、順位だけにこだわることなく善処していきたいと思っております。

代議員は一層努力して、区長を中心に時代に対応した区の運営に努めてまいりますので宜敷くお願い致します。

林務委員会報告



林務委員長

私のような者が林務委員長と言う役を戴き、これは大変だと思っているうちに一年が過ぎようとしています。

協力を得ましては、後は門松の準備等僅かになりました。

林務委員の仕事は、区有林の見廻りをし、町の林政協議会の指導を得て作業予定を立て、区の皆様にご協力をお願いする事です。

区費の納入期限についてお願い

区費納入は毎月末までです。

信州 高森農協
八十二銀行
飯田信用金庫

の下市田区口座への振込みをお願いします。

充分注意してお願いします。

林務関係行事予定

- 一月 林政協議会打合せ
- 二月 作業地区見廻り
- 三月 山作業・枝打
- 四月 山作業・除伐間伐
- 五月 林政協議会打合せ
- 六月 山作業・下草刈
- 七月 神社林御射山草刈
- 八月 神社境内保育園草刈
- 九月 林政協議会事業
- 十月 次年度作業打合せ
- 十一月 門松準備
- 十二月

厚生委員よりお願い

厚生委員長



日頃は厚生業務にご協力戴き有難うございます。

厚生委員十四名で家庭ゴミの分別収集、清潔検査、消毒薬の分配等を行なっております。このうち特に家庭ゴミの分別収集につ

水利委員会報告



水利委員長

久保田 利 明

区民の皆様、日頃水利事業に対してご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

委員会の仕事としては、主に用排水路及び堤の維持管理が大きな仕事です。用排水路については区行政の充実に共に、改良工事等がなされてはきておりますが、まだまだ皆様方の要望にすぐお応え出来かねる現実です。堤の管理については、

春先の土手焼きを始め夏場の草刈りが大仕事です。牧ノ内の余水捌け口と間ヶ沢の斜口が老朽化してしまい、改良工事を施さなければならぬ所です。また用水路の改良工事がなされて、二十数年の経過がたった物は傷みが酷く、ベンチフリームの取替えをしなければならず、これまた厄介な問題です。

六十二年度用排水路の改良工事は十三ヶ所、総延長

は約六百五十米を行ない、ベンチフリームとヒューム管の新設と敷設管・生コンでの河床の漏水防止、ベンチフリームの嵩上げ工事等が主な所でありました。

近年下市田区内の道路も舗装整備され、新しい住宅が建ち並ぶ今日、大雨が降ると道路や家屋の雨水は河川に入り増水し、溢れて農地へ悪水が溜まるのが現実です。これを解決するには町や県の行政の力で悪排水対策を早急に講じなければならぬ。また、

現在地元施工という形で区民皆様方の出勤を願っておりますが、年々工事が大型化し、人力中心では間に合わないといった今後の課題も出てきております。

今後の水利事業の計画については、町の五ヶ年計画に基づいて区民の皆様方の要望を委員会に於て的確に把握し、区及び町政に対して其の要望を持ち上げ努力して参りたいと思います。ご理解とご協力をお願い致します。委員会報告と致します。

土木委員会報告



土木委員長

林 守 夫

ながら道路改良、道路管理を行っておりますが、道路改良を行う上でどうしても解決して行かなければならないのが、潰地、地元負担金等様々な問題があります。これらの問題を解決して行くには、関係の皆さんの深いご理解とご協力が無ければ、どうしても出来ないのが実情です。この度町制三十周年を機に、振興総合計画なる計画がなされ、その一環として下市田区も、区民の皆さんからご意見ご希望を取りまとめ、道路関係だけで四十

数箇所、延長では七km余りに及ぶ要望箇所が出て来ましたが、これらの要望も大半が地元の要望であって、潰地、地元負担金等の話は出来ていないのが現実です。この計画も六十三年から実施されますので、今から各部落長さんを中心にして、地元の皆さん、関係の皆さん共々話し合いをしていただき、要望事項が一〇〇パーセント達成出来る様お願い申し上げます。そのためにも我々六名の土木委員も微力ながら皆様のお力になればと思っております。

× × ×

防火施設の拡充と施設管理について



消防委員長

北 沢 義 弘

された事項及び施設について協議し実施しております。本年行った主な事業（施設）は、各部落に設置されている自衛消防班と消防団員の皆さん方のご協力を得て、九月一日に町一斉に実施される総合防災訓練は、各部落ごと避難場所において初期消火としての消火器の使い方、軽便ポンプの使用法と区民の皆さんによる実施訓練を行いました。

消防委員会の構成は各部落より選出された六名と消防団幹部二名の計八名で構成されています。下市田区より火災が発生しないよう予防と発生した時の初期消火施設を充実するために、各部落より要望

いて記してみます。以前は金物以外は埋立ゴミとしていましたが、資源の再利用としてビン類を資源ゴミに加え、金物同様分別収集をしております。

これらのゴミは、業者に委託して回収しておりますが、このところの円高により、金物類は採算割れから分別を厳しく求められております。

又ゴミの量も年毎に増えておりますので、埋立ゴミは出来るだけ燃して灰にして出して戴くことが、埋穴を長持ちさせることになり

ます。

下市田区は町内で最も大きな区であり、又人口も増えておりますがゴミの分別については誠に残念な状況にあり町からも声をかけられている現状であります。そこで他区の例を聞いてみますと委員の他に常会長さんとか常会に衛生委員を置いてこの人達が分別を行っているとのことです。

下市田区としても目下区部落へお願いしてこれら他区に倣ってやってみるを得ないかと考えているところであります。

私共委員も他区に比べ少ない人数ではありますが、一同力を合せて頑張っております。

何卒厚生委員の力のみでは十分の成果は成し得ませんので区民の皆様のご理解ご協力を特にお願ひ申し上げます。

又軽便ポンプを定期的に管理維持、貯水槽の泥がえ、自衛消防班と消防団の交流による地区の消火活動方法及び施設等を協議し必要施設については区に要望いたしました。

区として永年消防団活動に活躍し退団された皆さんへの慰労の場を設けて

下市田の区、常会について(五)

田戸純市

五区

五区は間ヶ沢川と、南大島川に挟まれて、東は三区、南は天竜川、北は四区に接して、南大島川を隔てて飯田市と境する集落で、双葉会と云った時代もある。三六災以前は、平塚一・平塚二・中谷・武陵地一・武陵地二の五常会で、養蚕・稲作・酪農経営を中心とした純農村地帯で、勤労意欲の旺盛な農家が競って、早目早目の作業に取組み、他の集落に先んじているのが目立っていたが、今もその気風は変わっていない。

三六災の後、南大島川端に新しい住宅が建ち並び、賑やかになり、武陵地三・四の二常会が新設された。五区の中央には銚子ヶ洞、巡礼沢の水を集めて黒沢川が流れて、間ヶ沢川と合し、座光寺河原に流れている。平塚とか武陵地とか云う地名から、大古は塚が沢山あったことが伺えるが、概して黒沢川の南台地に集中してあったと伝えられてい

る。中谷には坂牧城跡がある。これについては区報八号の史跡めぐりシリーズ(8)で福島光三郎さんが詳しく書いてあるので、ご覧いただきたい。武陵地に日限地蔵尊があって、伝説もあり今も願かけをして、参拝する人が多い。

五区は(六二・一〇・三〇現在)一二七戸で、七常会で十四隣組で組織されている。

次へ常会配置の略図を示すので、ご参考にしていただきたい。

下市田五区常会配列略図



感謝いたしました。五年計画で行い、統一の色をシルバーとして、本年は四区と新井地籍、五区の三基を実施いたしました。町の地区振興計画については各部落の要望に対して充分検討し町当局へ申請いたしております。

町制三十周年記念 民俗芸能祭詠進歌

昭和六十二年十一月二十二日

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 一、苦節いくたび 踏みこえ栄ゆる 高森の | 串原喜代枝 |
| 二、響きあう 笛や太鼓の音にあわせ 静かに荒び舞ひつづく | 福島光三郎 |
| 三、天竜の川霧はれて 柿すだれ 色まざりゆく 冬の日射に | 藤松千年男 |
| 四、発展する町の証しぞ 田園に 白亜の工場 つぎつぎに建つ | 伊谷富貴子 |
| 五、庭先に植えし木せい 三十年 経ちていよいよ香は高し | 藤松 定子 |
| 六、獅子の舞い 屋台のはやし賑いて 高森の里 今町制 三十周年 | 加藤 清敬 |
| 七、町生まれ三十年の 歳寿きつ 稚児の曳く手に 獅子は練り舞う | 田戸 純市 |
| 八、白菊の香り漂ひ 町祝ふ 高森音頭 有線流る | 北沢 歌美 |
| 九、和か恋し 町に三十路の 祝詩 ともに唄ひし 寿げる秋 | 湯沢 正之 |
| 十、つい昨日 生れし思いの 高森も 三十路となりて 世盛りならむ | 松岡比呂子 |
| 十一、くばられし 金もくせいは 匂いたち 三十周年 迎える町に | 岡本 とよ |
| 十二、高もりの木々繁りきて三十年 町ひと こぞりいよいよ はげなむ | 塩沢 秀子 |
| 十三、おしろい花の 路地にこぼるる 黒き実の 掃きあつめいる 立冬の朝 | 大石ふみえ |
| 十四、たかまりの 町のさかえや 三十年 寿祝ぎ舞えり 獅子も稚児らも | 鎌倉 和女 |
| 十五、千柿の 簾陽に映え収穫の 祝いはなやぐ 高森の里 | 中村まさ子 |

切手と私

林 豊 (四区)

今回下市田区報の原稿を依頼され、さてどの様に書いたら良いか色々考えましたが、今までの私の切手収集の経過等を書きたいと思っています。

私が切手を収集し始めたのは中学一年の時クラスの吉沢君に勧められ始めました。その頃は、記念切手が発売されると吉沢君にお願ひして一枚ずつ買っておりました。のち今の飯田郵便会の前身の飯田切手研究会に入会しました。当時切手の発売等知るには一番早道でした。途中中断したこともありましたが、現在に至っております。

私は下市田一番です

物を収集すると言うことは、各自色々やられている方もおありと思いますが、マッチのレットル、キップ、テレホンカード、宝クジ、タバコの空箱等々、私も初めは、ただ発売のたびに一枚ずつ集めていたのですが、

あの小さな紙切れの中にその時々国情、経済状態が凝縮されています。

例えば、印刷のやり方、紙、図案等にも、明治の初めは和紙に銅板へ手彫りした物で印刷されたのち輸入紙へ、国産紙へと変り、関東大震災の時には、多くの切手・はがき等が焼失したことにより、応急措置として民間会社で製造された震災切手、戦中戦後の混乱期の再生紙へ、二十五、六年頃より又紙質も良くなり現在に至っております。図案も記念切手や普通切手にもその時々世情を反映しています。大戦中は、戦時色の濃い物となり、戦後は産業発展の為の産業図案、今は国宝や花等になってきております。

一枚一枚の切手を見る時その収集の苦労とともにに面白みがあるとともにその時々切手の発行の経過等を考える時なにか楽しさがわいてきます。

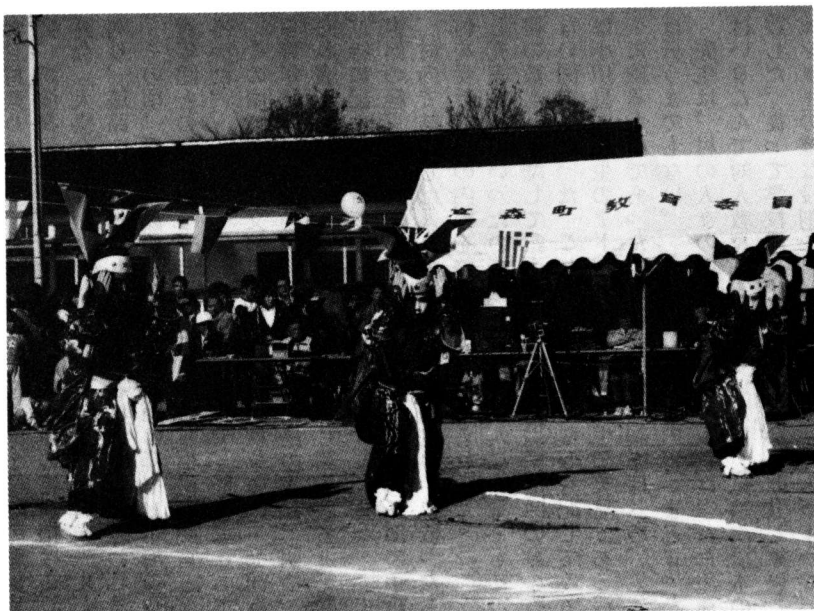
今私の収集の中心は、切手よりか使用されたはがき及び切手(封筒付)に変わり

つつあります。前島家が郵便切手を考え発行されたのが明治四年三月一日それから百十五年になります、その間又各地方の郵便局も

一等局から三等局まであり、局の格上げ格下げ等により集配がおこなわれたり取りやめになったり、市田の局現上市田局も一時期無集配局になったりで、それを実際に知るにはその消印にたよるしかしかた有りません。又消印を見るとこれも又その時々世情を反映して戦中から戦後にかけて物質不足の時代には、今消印の一番下にある時間活字が入っておらなかったり、二十年の年活字はゴム等にて減ってしまいわからなくなった物があります。

なにか取り留めもなく書きましたが、今各家庭が新しい家や増改築の時のはがきや封筒等が焼却されてしまふのが残念なことです。

古いのはがき、封筒等捨てないで下さい。なんでも収集すると言うことは楽しいことですが、今郵政省も多くの切手・はがき等発売し少々ふところも苦しくなってきました。



獅子引きに参加して

竹村 征夫 (四区)

に化粧しいもらい衣裳を着けてもらいました。見まがうほど変ってしまいい実に恰好良いものでした。

実際に舞う時は「間違うのではないか」「帯は大丈夫かな」「カッラは痛くないか」「ワラジは、ゆるんでないか」心配し通して離れられず、つきつきで見えていました。周囲から聞える声に「立派だあ」「素晴らしいな」「なんてきれいなっちゃったの」「私の子供も絶対やらせる」とかありました。見廻すと他の子供達も羨しそうな顔で見えていました。「やはりやって良かった」と胸を張りたいた時でした。

今年は町政三十周年記念で、町の芸能祭があり全町民の前で舞う事になり、今までに例のない二回も獅子引きをやる事になり感激しています。

私共の子供達三人が、年齢・地区等の条件があり、希望しても選ばれる事が難しい、伝統ある萩山神社の獅子引きに選ばれました事は、大変名誉な事と喜んでおります。

子供達は、十日間練習をしました。当日は、きれいな

子供達にとっては、一時的にスターになり、神の子として祝福を受け、今までにない体験は、今後生活していく上で、必ず強い心の支えになると信じております。今後その時代に合った合理的な考えで力を合わせて伝統を受け継いで行きたいものです。

史跡めぐりシリーズ (11)

頌徳碑について

福 島 光三郎

— 小川昌成先生 —

旧下市田小学校の校庭につづく公園のうち、旧校長住宅の在った前の地点に小川昌成先生の頌徳碑が建っている。それは下市田の教え子たちが昭和十七年十月ここに碑を建てたものである。

小川昌成先生は、今から九十三年前の明治二十八年五月の初め下市田へ足を踏み入れた。以来大正四年に至る（うち四ヶ年は両小野校長在任）十八ヶ年に亘って下市田の校長として、家族を松本においたまま、単身赴任で学校教育は勿論、社会教育、農業、文化の面に及ぶ広汎な活動をされ、いわば生涯教育をされたま

れに見る人物であった。

下市田学校では前校長の本島平太郎先生が、病氣のため亡くなされたその春五月偶然と云うように小川昌成先生が、下市田に現われたのであった。昌成先生はその時四十一歳、滋賀県で

ついた。

先生は生徒（高等科）と共に校舎の前に池を掘り木々を植えた。東京の好木園より十三種類の苗木を取り寄せ、また生徒と一緒に大島山の不動滝の上の辺で珍しい樹木を採取し学校園に植栽した。今の萩山神社の傍らに花を咲かせる桜の苗木は、卒業生の女子五名の植えた記念樹である。

先生は生徒に対し勤労教育として、実習を行わせ、一坪農業をすすめ、ある年には桑苗三万本を植えさせたり学校林に植林を行い、下蒔り作業もやらせた。

上級生に苗代のめい虫の蛾を取らせ、桑の害虫の尺とり虫を集めさせる等によって実業教育を行った。これらに対し大日本農業会長より表彰されている。

体育の面でも運動をとりいれテニス・野球（明治三十五年）を積極的にすすめた。郡下でも早い時期であり近村校との対抗試合で何度も優勝している。

歩くことをすすめ、遠足運動会を実施した。遠く伊勢方面への修学旅行は郡下で先鞭をつけたわけである。神坂の峠の往復は困難だったと思われる。天竜川で水

泳をやり何年もつづいた。

学校教育の一部として、経済観念を身につけるために生徒に貯金をすすめ、毎月全生徒が貯金に励んだ。卒業生に対しては同窓会を作らせ、時々学校に集め

学校との連繫を密にした。農閑期の学習、講演会、講習会等を行っていた。

青年団活動に対しても助言をし団の運動は活発だった。村祭りは勿論、弁論大会、講演講習会、農産物品評会（大盛會）、共有林の草刈り、道路の手入れ等々。

その頃、愛知県渥美郡の青年団との友好的な交流もあった。

この頃である。文部省から青年団の自治活動が認められ表彰されている。

特に記すのは青年団の図書館の経営のことである。

村内で結婚した人々の寄付を受けてその内容を整備し充実させていたので蔵書の数も毎年増して県下になく図書館だった。これらは小川昌成先生のアドバイスに依るものであったことは云うまでもない。

先生は、村の人々の中にはいりこんで対人教育を実践した。従って学校即文化センターの様な役割を果し

ていたわけである。

昌成先生は、この村の古墳は勿論、地表の石器・土器の蒐集、調査と図表の作成などを実施し、遠く県下

に及んだ。

郡教育会で考古学の研究を始めたのは、それより十年遅れた大正十年鳥居龍蔵博士を招いてからのことだったのを見て昌成先生の卓見のほどがわかる。

現在、南小学校の職員室に副島種臣の書が掲げられている。これは昌成先生が入手されたものと思われる。副島種臣は幕末・明治の政治家で、のち枢密顧問官とな

った人物で、能書家として知られ、秋草道人・会津八一が、副島の書は、明治・大正を通じて第一人者と絶賛している。

同校の品川弥二郎の手紙も昌成先生の手紙に依ったものと考えられる。

長野県人なら誰でも知っている「信濃の国」の歌の作詩の裏はなしを記してみる。昌成先生の実兄である浅井例が作詞をはじめ、大体の構想、内容がまとまったがまだ不本意だったため迷っていた折、兄弟が松本の実家に出会い飲食し歓談し

作歌の点で行きづまって

ると述べたのに対し、昌成先生はその原稿に対し朱を入れ訂正加筆したと云う。「信濃の国」は浅井例と昌成の合作とは云いすぎるか、その作詞の実状は以上の様であった。

昌成先生の薫陶をうけて教育の道へ進んだ人々は、上沼久之丞（全国小学校長会会長）他三十九名、うち校長となった人々は十八名あった。

村に居て、いわゆる村興し運動に挺身した人々はそれぞれ積善会・共励会・力行会等を組織して農事改良等に当った。

村を離れて実業人、社会人として著名な人々は多数にのぼっている。

右に述べた様に有為な人材を養成した小川昌成先生はまれにみる人徳にすぐれた知識人、行動の人で当時としても抜群の指導者で

した。

現在昌成先生の起居されていた校長住宅の前にある先生遺愛の紅梅の木も枯死寸前であり、先生が植え手入れされた公園も荒れるまでであり、尚道路拡張改良のため削減されようとしており、先生の呼吸とお心の染みついていいる本校舎へ

●●● 随想 ●●●

背広は英語

松島 信(二区)

「天麴羅喰ってる赤い背広に白Yシャツのすべた」
「うん知ってる、お転婆で何んとかいうインチキ会社に勤めている娘……」
この俗悪な会話の中に、

外来語がいくつもある？

先ず背広。ロンドンにある洋服商人街サビルローの町名から、又はセビリアンクロス(市民服)のセビリヤからとか考えられるがセビロは何れにしろ英語であることに相違ない。

Yシャツは英語のホワイ トシャツから弱く発音する ホとトが抜けてワイシャツに、だからYシャツは当て字。

ズボンはフランス語のジューボン。幼児が「ジューボンヌレター」

「あらあの子フランス語知ってる」なんて感動したりして。冗談はさておき、ジューボンは本来ベチコートのこととアラビア語のジューバ(男性のズボン)が源となる。イギリスでは女性用をパンタロ



で日本では元気の良いや、軽薄な娘を意味する。

さて最後のインチキは、フィリピン人のタガログ語で中国人を意味していたが悪い中国人が中に居たのだらうか、やがて不正とかずるいとかいう意味に変わって日

親と子

上沼政夫(三区)

これは先日ある講演と新聞を読んで、大変感銘したので参考にしていただければと思ひ筆をとりました。

教育と云うものは、年に一度か二度食べる「フルコース」の定食ではなく、毎日食べている「お茶づけ」と同じもので、お母さんが

口や階段の下などで「お宅の子供さん、この頃どう？うちの子は悪くなって困っているの」と、普段着のままで話し合っているその時こそ、本当の教育の姿がそこにあるのだそうです。

親は自分の生んだ子供だから、この子のことは何でも知っているという考えは誤りで、実際は「1・3」しか知り得ない。つまり子供が家に居る時だけのこと

って変化し成長していくという事です。

子供の成長過程で大切なことは、一がまん・二やる気・三創造・四心、の四項目で、如何に子供が前頭葉

を使ってこの世の中を踏みしめていくかに、かかっているようです。前頭葉を子供のころから磨いていく上で大切なことは、小学校の

教科でいうと作文・体育で、算数の成績が悪いのは後頭部の脳、つまり受験用学力を養う働きを充分使っていないだけで、頭が悪いということにはならないそうです。

大変堅い話題になりましたが、現在の子供は受け身で、原因はお母さんの世話のしかたにあるそうです。

最近の親は、子供が自らやろうとすることを先に言ったり、やってしまったりするため、子供から「やる気」を取りあげてしまっているようです。

例「小学生のある作文」僕がお風呂に入ろうとしたら、お母ちゃんが「風邪をひくから早く入れ」と言った。「うん」と返事をした。僕が裸になって風呂場の戸を開けたら「早く湯の中につかりな」と云った。

も老朽化し、保存も容易ならぬ事態となつて居る。この機に昌成先生の事蹟をはつきりと見直し認識したいと思ひます。

尚小川昌成先生は下市田学校退職後は郷里の松本に帰られ、のち横浜に転居され昭和元年(一九二六年)七十二歳で逝去された。

それで僕は急いで風呂に飛びこんだ。そしたら「早く出てきれいに洗いな」と云った。それであわてて出て半分程洗ったら「風邪をひくから早く湯に入れ」と云った。しかたがないから僕は半分でやめて入った。お風呂から出てきたら「よく洗ってない」と怒られた。

こういう世話のやり方が、子供を駄目にしてしまう親だそうです。必ず自分でやらせる、これが子供を育てる鉄則になります。

私も日頃、子供に接する姿勢としては前述「小学生のある作文」のような世話のやり方が大変多かったことを反省し、今後子供のやる気を出させるような、家庭環境を作ること目標にしてみたいと思ひます。

小中学生の作文

小原ヶ丘祭

岡本貞美(六区)

十月二十四日・二十五日と小原ヶ丘祭が行われました。一年のときも、二年のときも、私にとっての小原ヶ丘祭は楽しいものでした。しかし、今年、私は役員なので、準備・進行・接待片付けと休む暇はほとんどありませんでした。展示見学は二クラスくらいしか見れず、自主活動(Ⅱ)も前半は出ることができませんでした。

本当に、裏方がこんなにえらいとは知りませんでした。私が一年のときも、二年のときも、いろいろな人の裏の活躍で小原ヶ丘祭を楽しむことができたんだと思います。

でも、裏方も疲れるだけではありません。自分達で計画し、準備したぶん、成功したときの喜びは人一倍大きいのです。



小原ヶ丘祭が終わるまでは、「ああ、はやく終わら

んかなあ」と思っていました。が、いざ閉祭式が終わった最後の後片付けとなると少し寂しい感じでした。しかしだんだんと「無事終わったんだ。成功したんだ」という気持ちがわいてきて、「やったー」というような喜びにかわっていききました。そしてそれとついに、とても充実した気分になっていきました。この気持ち

は役員になってみないとわかりません。この時本当に「役員になってよかったなあ」と思いました。

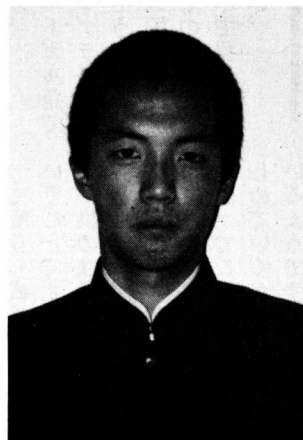
今年の小原ヶ丘祭は、去年までの「ただ楽しい」小原ヶ丘祭とはちがって、私にとってとても意味のあるものでした。

思い出し

片桐正道(三区)

中学生生活も終わりに近づいてきました。思い出になることも数々ありました。

しかし、仲間と地区優勝という一つの目標に向かってサッカーができたことは地区優勝と同じくらいうれ



念ながら中体連では三位と

いう結果に終わってしまいました。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

いことでした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

また、部活がいそがしく区の行事に協力できなかったことがあって、それが残念でした。

駅伝のこと

吉田亜由美(五区)



十一月二十三日に駅伝がありました。

私達五年二組でチームを作って出場することにしました。

メンバーは、千保美さん、美紀さん、佳津美さん、真妃さん、美和さんと、私です。

チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

「三組・四組には負けたくない」みんなそう思って走りま

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

た。チームの名前も決めました。「ガンバルズ」他にもいろいろの案が出されたけど、やはりこれが一番良い

二、三、四番目に走る人は、バスでその場所まで乗

第五回下市田区カラオケ大会開催される

萩山神社秋まつりの一環として恒例のカラオケ大会を去る九月二十七日夜下市田公民館で開催した。

今年の入賞者は次の方々。
・カラオケ大賞
林 鉄夫(四区)

・歌 唱 賞
沢 泰一(一区)

・熱 演 賞
北沢美代子(六区)

・努 力 賞
松村清見(六区)

編集後記

今年最終の区報発行の時期となりました。

みなさんのご協力で予定どおり発行することができましたことに編集委員一同感謝しているところです。

区報は区内の情報紙として、また区内の記録紙として、区民皆さんの気軽な投稿をお待ちしています。

今年も区の事業をはじめ各種コミュニティ行事、町制施行三十周年記念関連行事等区民みなさん大へんご苦勞様でした。

今後ともみなさんの区報としてご協力をお願いしま

す。

す。

す。

す。